

こどもの自殺対策に関する関係省庁連絡会議（第2回）
議事概要

日時 令和5年5月19日（金）17:00～19:00
場所 こども家庭庁庁議室
出席者 ※ [] は代理出席者
議長 内閣府特命担当大臣（こども政策 少子化対策 若者活躍 男女共同参画）
議長代理 こども家庭庁長官
副議長 こども家庭庁支援局長
構成員 内閣官房孤独・孤立対策担当室長
同 警察庁生活安全局長 [生活安全企画課長]
同 こども家庭庁成育局長
同 消防庁次長 [審議官]
同 法務省人権擁護局長
同 文部科学省初等中等教育局長
同 厚生労働省社会・援護局長

（議事次第）

1. 小倉大臣挨拶
2. 有識者等からのヒアリング
 - ・ NPO 法人自殺対策推進センターライフリンク代表 清水康之氏
 - ・ 九州産業大学学術研究推進機構科研費特任研究員 窪田由紀氏
 - ・ NPO 法人あなたのいばしょ理事長 大空幸星氏
 - ・ 大阪府吹田市教育委員会学校教育未来創生室参事 草場敦子氏
 - ・ 子どもの発達科学研究所／主席研究員 和久田学氏

（配布資料）

- 資料1 NPO法人自殺対策推進センターライフリンク代表 清水 康之氏提出資料
- 資料2 九州産業大学学術研究推進機構 科研費特任研究員 窪田 由紀氏提出資料
- 資料3 NPO法人あなたのいばしょ理事長 大空 幸星氏提出資料
- 資料4 公益社団法人子どもの発達科学研究所所長／主席研究員 和久田 学氏提出資料

（議事概要）

○開会にあたり、小倉大臣より以下のとおり挨拶があった。

こどもが自ら命を絶つようなことのない社会を作らなければなりません。
令和4年の児童生徒の自殺者数が514人と、過去最多となったことは、こどもまんなか社会の実現を目指すこども家庭庁としても大変重く受け止めて

います。

先日申し上げたとおり、本会議では、骨太の方針も見据え、スピード感をもって、6月までにこどもの自殺対策の強化に関する施策をとりまとめたと考えています。

本日は、関係省庁の皆様とともに、有識者の皆様からご意見をいただく機会を設けさせていただきました。ご参加いただく有識者の皆様には感謝申し上げます。

こどもが自ら命を絶つようなことのない社会に向けて、こどもや若者の視点に立ち、関係省庁の皆様とワンチームとなって、しっかりと取り組んでまいりたいと考えておりますので、本日は忌憚のないご意見をいただきますようよろしくお願いいたします。

○NPO法人自殺対策推進センターライフリンク代表 清水 康之氏、九州産業大学学術研究推進機構科研費特任研究員 窪田 由紀氏、NPO法人あなたのいばしょ理事長 大空 幸星氏、大阪府吹田市教育委員会学校教育部教育未来創生室参事 草場 敦子氏、公益社団法人子どもの発達科学研究所所長／主席研究員 和久田 学氏より、こどもの自殺対策に関する見解等について説明があり、その後、質疑応答を行った。

○最後に、小倉大臣から以下のとおり挨拶があった。

本日は、こどもの自殺対策について、長年この問題に取り組んでこられた有識者の皆様から示唆に富んだ、大変参考になるご意見を頂戴いたしました。

相談支援やリスク評価におけるデジタルツールの活用、こども自殺対策の専門人材の充実と連携強化、実態把握と分析のための情報収集等についてご意見をいただきました。

本関係省庁会議についても、会議の場で省庁横断的に課題を共有することは非常に意義があるのご意見や、会議を開くこと自体が、こどもたちに対して大人が見捨てていないという強いメッセージにつながるのご意見をいただき、関係省庁会議立ち上げの意義を改めて確認したところです。

6月の骨太までにしっかりとした結論を出せるよう、今日いただいたご意見を踏まえ、よりスピード感をもって検討を深めていかなければなりません。関係省庁の皆様にも、引き続き、政府一丸となって取り組んでいけるようご協力をお願いいたします。

(以上)